

第二部 事例紹介

里の川・平井川における試み 「川ガキ」の復活と自然環境の保全を目指して

平井川こどもの水辺協議会
川原で遊ぼう会 代表 辻淑子

1. 川原で遊ぼう会（「平井川こどもの水辺協議会」事務局）

- * 2000年5月に発足
- * 子育て中の母親が活動の中心的担い手

2. 平井川の紹介

- * 日の出山を源流に日の出町とあきる野市を流れ、多摩川に注ぐ全長約17キロの中小河川
- * 流域面積約40平方キロメートルのうち、山林、田畑などの自然地が占める割合は、6割以上
- * 平井川沿いに田んぼが広がる典型的な里の川
- * 4,50年前までは、子どもたちの格好の遊び場 → 「平井川の昔・イラストマップ」

3. 「川ガキ」の復活を目指して

- * あまり見かけない「川ガキ」＝「絶滅危惧種・川ガキ」
- * 平井川の魅力を伝えるために、自然観察会の開催
- * 「川ガキマップ」の作成

4. 「平井川こどもの水辺」の取組

- * 行政や地域と連携して、より広く活動するために
- * 自治体、学校、PTAへの働きかけ（水辺の楽校への視察見学会など）
- * 平成16年8月に登録（川原で遊ぼう会が事務局）
- * 二つの基本理念
人寄せを目的にしたイベントではなく、参加者が主体的、継続的に関わる活動
子どもと大人が同じ仲間として「川づくり」に参加する



「平井川こどもの水辺ボランティア・スタッフ」

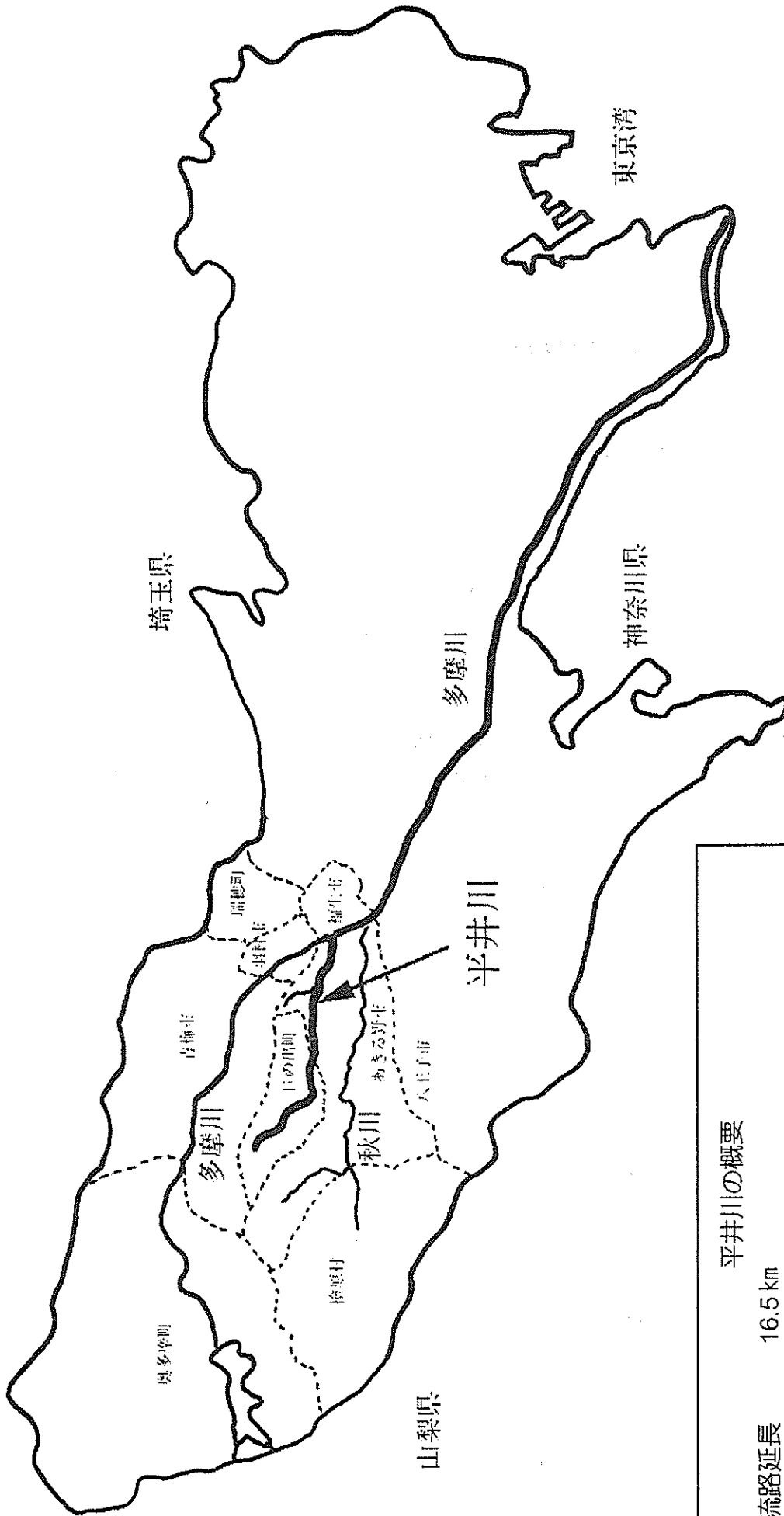
- * 「自然かんさつ仲間」として活動を継続

5. 自然環境の保全を目指して

- * 流域での開発、河川改修工事などによる自然環境の悪化
- * 市民の手による自然環境調査の取組
- * 平井川の豊かな自然を未来の子どもたちに残すために



町づくり全体の中で総合的な治水対策を
十分な調査と環境保全対策を



平井川の概要

流路延長	16.5 km
流域面積	38.9 km ²
源流	日の出山 (902.3 m)
流域人口	約 42,000 人
流域自治体	あきる野市・日の出町
流域土地利用	山林 61% 市街地 22% 田畑 6%

It's a Child's World!

戻って川ガキ

宮城産でも広島産でも
鳥羽産の無菌ガキでもなく
平井川育ちの元気なガキ

～平井川に「水辺の楽校」を作ろう・推進プロジェクト～

映画とお話でつづる

川ガキ養成講座

2003.3.15 SAT

会場 **秋川ふれあいセンター・ホール**

映画上映

話題沸騰!!人生のはじまりの時間を見つめたキッズ・ストーリー

野中真理子監督作品

16mm/カラー/80分

①13:20～ ②16:10～

講演

NPO法人「東京 賢治の学校」代表 鳥山 敏子さん

15:00～

入場料 大人1,000円(前売800円) 小学生以下 500円(前売400円) 保育あり(要予約・実費)

主催 川原で遊ぼう会 後援 あきる野市教育委員会

協賛 子ども劇場 西多摩 大久野 森の教室 生活クラブ生協 あきるのちいき たま「地球村」 エコスネット
申し込み・問合せ

T&F 042-559-8281 川原で遊ぼう会事務局 E-mail hiraigawa@mbg.nifty.com

川ガキという言葉を知っていますか？ 水に潜って魚を捕まえたり、淵に飛び込んで泳いだり、川で遊び戯れる子どもたちのこと。その姿が、いつの間にかほとんど見られなくなりました。

足元を群れて泳ぐ魚たち、夕空に群舞するトンボの姿、石ころだらけの広い川原・・・川ガキを育ててきた自然豊かな平井川も、今ではすっかり姿を変えてしまいました。

かけがえのない平井川の自然と川ガキの姿を、もう一度取り戻すために、私たちは、今、改めて、川について学び、平井川の未来を真剣に考えていきたいと思ひます。みなさんも、と一緒に、川について学びませんか？

連続講座

第1回

2003年

1月11日(土)

テーマ

川原で生きる植物たちの攻防
～オオブタクサは嫌われ者？～

講師 ^{わたしに} 鷺谷いづみさん
(東京大学教授・保全生態学)

鷺谷さんは、霞ヶ浦の自然復元プロジェクトをはじめ、自然保全のために、専門家の立場から多くの市民活動をサポートしています。

時間 午後1半～4時

場所 あきる野ルピア 3階・集会所
(裏面参照)



定員 50名
参加費 500円(会員300円)

*保育についての相談に応じます。

申込・問い合わせ 川原で遊ぼう会・事務局
042-559-8281 (FAX共通)
E-mail VYQ03563@nifty.ne.jp

★野の草花をこの上なく愛する
植物の研究者が語る・・・

*今、叫ばれる、生態系の保全とは？
*失われつつある、川原の植物たち。
*このままでいいの？ 繁茂する外来植物。

川を取り巻く
いのちのつながり

*この事業にあたってはWWFジャパンの助成を受けています。

主催 川原で遊ぼう会
後援 あきる野市教育委員会

2003. 10.25(土)

「あきしま水辺の楽校」に学ぶ

◆平井川で「子どもの水辺」をはじめよう!

- 「子どもの水辺」は、水辺で遊ぶ子どもたちを復活させるために、行政と市民がパートナーシップを組んで、川の保全や利用を進めるものです。
- 「子どもの水辺」は、国土交通省、文部科学省、環境省が協力して進めているプロジェクトです。
- 「子どもの水辺」の活動を進めていく中で、河川の整備が必要になると「水辺の楽校」へと発展します。
- 平井川でも、今、「子どもの水辺」を始めるために、各方面への協力を呼びかけています。

◆「子どもの水辺」をはじめめるためには・・・??

- 行政と市民がどのようにパートナーシップを組むのか?
 - 「子どもの水辺」として、どのような活動をしたらよいのか?
 - ・・・わからないことがたくさんあります。
- そこで、

◆「水辺の楽校」の先輩から学ぼう!

- 第1回目の視察見学会としてとして、多摩川の「あきしま水辺の楽校」を訪ねます。
- 「あきしま水辺の楽校」のフィールドを案内してもらいます。
- 開校までの経緯や活動内容などについて、お話を聞きます。

★★★ あきしま水辺の楽校で一緒に学びましょう!



日時 2003年10月25日(土) 13:00~17:00 (雨天決行)
 集合 多摩川 八高線鉄橋下駐車場 (くじら運動公園横) 13:00 ㊦裏面地図参照
 当日のスケジュール

- 13:00~14:30 「あきしま水辺の楽校」現地見学会
- 14:30~15:00 大神会館へ移動、休憩
- 15:00~17:00 「あきしま水辺の楽校」から学ぶ・意見交換会

- ※「水辺の楽校」「子どもの水辺」とは? (国土交通省より)
- ※「あきしま水辺の楽校」開校までの経緯 (あきしま水辺の楽校運営協議会より)
- ※ 市民と行政のパートナーシップとは? (同上)
- ・・・などなどを予定。

持ち物 特にありませんが、歩きやすい服装でお出かけください。

参加費 無料 (カンパ歓迎!)

申込み 下記の申し込み用紙にご記入の上、10月20日(月)までに川原で遊ぼう会事務局へ、FAXでお申し込みください。(電話、メールでも可)

*この視察見学会は、あきる野市社会福祉協議会ボランティア団体活動助成金を得て、運営されています。

問い合わせ先 川原で遊ぼう会・事務局

T&F 042-559-8281 E-mail hiraigawa@mbg.nifty.com 〒197-0802 あきる野市草花3012-20

第1回「水辺の楽校」視察見学会・申し込み

ふりがな お名前 _____ ご住所 〒 _____

Tel _____ Fax _____ 携帯 _____ e-mail _____

所属 _____

★集合場所までは・・・ () 交通機関を利用していく () 車で行く

★5時半から昭島駅近くで懇親会を予定しています。ぜひ、ご参加ください!

懇親会に・・・ () 参加する () しない () まだわからない

平井川で「子どもの水辺」が始まりました！

主催 平井川こどもの水辺協議会

川と言えば、昔の子どもたちにとっては、最高の遊び場だった。けれども、最近では、川で遊ぶ子どもたちの姿がすっかり減ってしまった。

そこで、昔のように元気に川で遊ぶ子どもたち「川ガキ」を、呼び戻そうと始めたのが「子どもの水辺」。

ボランティアスタッフにとって一番大切なことは、川で遊ぶ楽しさを知ること。つまり、「川ガキ」になることだ。

子どもも大人も「川ガキ」になって、一緒に「楽しい川」づくりに参加してみませんか。

「平井川こどもの水辺」 ボランティア・スタッフ大募集！



「子どもの水辺」とは？

「子どもの水辺」とは、川を子どもたちの遊び場として復活させるために、国土交通省、文部科学省、環境省が共同で進めているプロジェクトです。

現在、全国各地の川で「子どもの水辺」が登録され、様々な活動がおこなわれています。

あきる野市でも、平成16年度、市民と行政府が協働して「平井川こどもの水辺協議会」を立ち上げ、「平井川こどもの水辺」を登録しました。

そこで、今回、「平井川こどもの水辺」で一緒に活動するボランティアスタッフを募集することになりました。

<平成17年度の主な活動計画>

① 「平井川こどもの水辺」を知ろう

登録区間を歩きながら、川の様子や回りの自然を観察します。

② 川遊びを体験しよう

川遊びの豊かな経験者から、川で遊ぶ楽しさとコツを教わります。

③ 平井川日記をつけよう

日頃から平井川の様子を知るために、ワークシートに記録を付けます。

④ クリーン活動

水辺に近づきやすい環境を整えるために、草刈りやゴミ拾いをおこないます。

平井川子どもの水辺を歩いて 2005.5.14

平井川子どもの水辺ポラン
 ティア・スタッフのメンパー
 (小学生~60才代)で、平井川
 子どもの水辺の登録区間を歩
 き、発見したことや観察したこ
 とをまとめました。

*オギとススキの原がある。
 *オオヨシキリが「ギョギョシ
 ギョギョシ」と鳴いて
 いた。
 *オオイヌノグブリ、ノイバラ、オニタビラコが咲いて
 いた。
 *ベニシジミが何匹も見られた。
 *カヤネズミがすんでいるらしい。
 *キャンピングカーが捨てられている。
 *古いオギの茎を使った秘密基地があった。はさみも落
 ちていた。

用水堤

*コイサギが上空を飛んでいった。

*ムラサキメクサがたくさん咲いて
 いた。

*ほとんど焼きやバーベキューのあ
 とがあった。

*大きなビニール袋に入ったゴミが捨
 てられていた。

*チガヤの白い穂が開きかけていた。

*アオダイショウの死体があつた。

*なぜか、かべにキクの花の絵が
 かいてある。

*クルミの木が多い。枝で苗を作ってもらつた。
 *ニセアカシアの木が多い。白い花が咲いてい
 り香りがした。

*大きなヤマブキの木がある。

*ポピーなど
 園芸種の花が
 多い。

*わき水が出ている。子どもたち
 がよく遊びに来る場所らしい。

*ヘビイチゴの実がなつていた。
 タンポポの綿毛がとんでいた。

*ウスバシロチヨウウがふわふわ飛んで
 いた。(幼虫の食草は、ムラサキケマン

*ツバメが水面近くを飛んでいた。
 *カルガモがいた。
 *セキレイが飛んでいる川虫をつ
 かまえて食べていた。

*小さな稚魚がたくさんいた。

(全体を通して)
 *いつも通る場所だけれど、川原において
 ゆっくり歩いてみると、いろいろのおもしろ
 いものが見つかることがわかつた。
 *ゴミの多いのが気になる。
 *子ども水辺の上流側の方がおもしろ
 かつた。
 *三角川原のオギ原は観察路をつけて歩け
 るようにすると楽しそう。

*オオオブタクサが出始めていた。
 *コイが泳いでいた。原

*ウグイが産卵するための場所があり、旗が
 立っていた。

*小さなバツタがたくさんいた。
 *ギンギンがたくさんあつた。
 *クララが生えていた。根を掘
 るうとしたあとがあつた。

*カワゲラやトビケラの観察をした。
 カワゲラの成虫やさなぎの抜け殻も見た。
 *川底が汚い。もう少しきれいなところで
 観察したかつた。

*ムラサキケマンの
 種を飛ばして遊んだ。

*カジカガエルの声がかえつた。

*ハグロトンボが一匹飛んでいた。

*シンジュの木が生えている。
 シンジュサシという方が作る薬
 から糸がとれるらしい。

*オオトビが飛んでいた。

*ムラサキケマンの
 種を飛ばして遊んだ。

*カワゲラやトビケラの観察をした。
 カワゲラの成虫やさなぎの抜け殻も見た。
 *川底が汚い。もう少しきれいなところで
 観察したかつた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

*オオトビが飛んでいた。

いつも見なれた平井川。でも、川原に下りてちょっと草むらをのぞいてみたり、水辺のそばを歩いてみたり、曇り日には思い切って川の中に入ってみたりすると……そこは自然のワンダーランド！ 思わぬ自然との出会いに、どつきり、わくわくすることでしょう。さらに、自然にうれしい案内人といっしょに歩けば、平井川にくらす生き物たちの不思議な世界が広がります。そんな楽しいひとときを子どもも大人もいっしょになって、みんなで過ごしてみませんか？

「平井川こどもの水辺」

自然かんさつ仲間 大募集！

4月

知ってるかい？
トンボ王国・平井川！

平井川にすむヤゴの数々をトンボにうれしい「案内人」といっしょに観察します。

5月

めざせ！
ハヤ釣り名人

子ども時代、オイカフやウグイを釣って遊んだ「元・川ガキ」の手ほどきを受けて、ハヤ釣りに挑戦します。

6月

川上り、わくわく探検

川の中をざぶざぶと歩きながら、いつもとは違った角度から自然や景色を楽しみます。

7月

元気かい？
カジカくん！

川に入って玉網や手探りで魚を捕まえ、魚にうれしい「案内人」といっしょに採った魚を観察します。

8月

水中めがねでのぞく
川の世界

平井川の上流で川遊びをします。水中めがねを使って、泳ぐ魚の姿を観察します。

9月

虫博士と一緒に
バッタの身元調べ

虫にうれしい「案内人」と川原でバッタ採りをして、名前や特徴を調べます。

10月

里の秋

川を歩けば100の発見！

川ぞいに自然観察を楽しみながら上流へ向かって歩きます。木の実、草の実、・・・たくさん発見をしましょう。

11月

平井川の昔
竹から作る・魚とりの道具

平井川のそばで生まれ育った「案内人」から、平井川の昔のお話を聞き、昔の魚とりの道具の使い方や作り方を教わります。

12月

川のそうじと焼き芋で
心も体もポッカポカ

川ぞいにゴミ拾いをしながら歩き、最後はみんなで焼き芋をして暖まります。

1月

レンズを通して
野鳥の魅力にせまろう

野鳥にうれしい「案内人」といっしょに、双眼鏡や望遠鏡を使って野鳥観察をします。お昼には熱々のすいとんを予定！

2月

クズをほって、一石二鳥

カヤ原を保全するために、増えすぎたクズの根っこをほり出します。また、取ったクズのつるを使ってかご作りもします。

3月

比べてみよう
きょうだい川！

平井川を離れて、同じ多摩川の支流である秋川で自然観察をします。近くにあるカタクリの保全地区も訪ねます。

子どもも大人もいっしょに
平井川の自然に楽しみましょう！

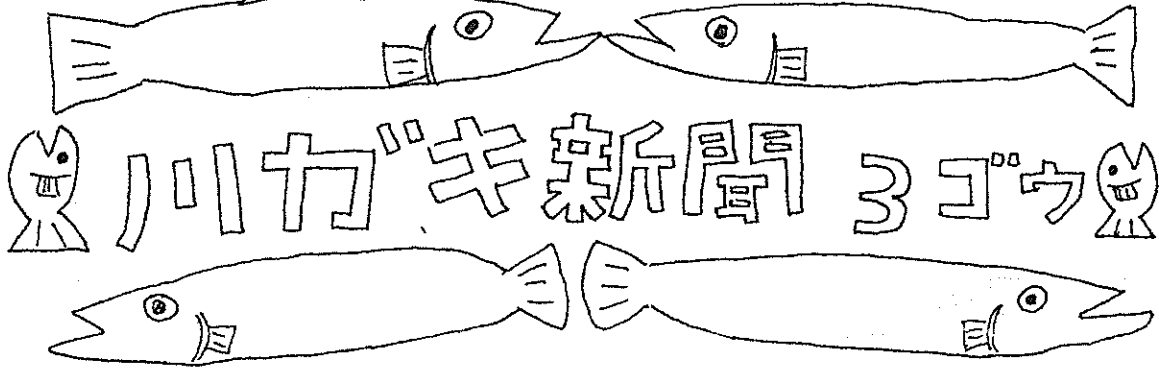


「子どもの水辺」とは、川を子どもたちの遊び場として復活させるために、国土交通省、文部科学省、環境省が共同で進めているプロジェクトです。現在、全国各地の川で「子どもの水辺」が登録され、様々な活動がおこなわれています。

あきる野市でも、平成16年度、市民と行政が協働して「平井川こどもの水辺協議会」を立ち上げ、「平井川こどもの水辺」を登録しました。この活動は、その一環としておこなっています。

主催 平井川こどもの水辺協議会

平井川こどもの水辺
自然かんさつ仲間
2006年6月 発行
〒197-0802
あきる野市草花3012-20
042-559-8281
kawarade@nifty.com
(平井川こどもの水辺
協議会・事務局)



川カギ新聞 ゴウ

かんたんできる カサガサ

魚取り
さかな



特集が
サガサ
魚取り

3

き
ま
す

出
て

と、魚が

で、ゆきか
い
る

の、あ
み
を
よ
り
上

の、あ
み
を
よ
り
上

草の中
に
い
る

流川
の
水
が

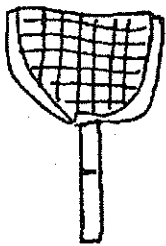
草の中
に
い
る

流川
の
水
が

流川
の
水
が

流川
の
水
が

流川
の
水
が



▲タモアミ、これでもで
きます。

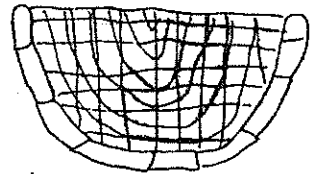
キバ子はきけん。
さかれます。



10回
のうち
5回
98
パーセント



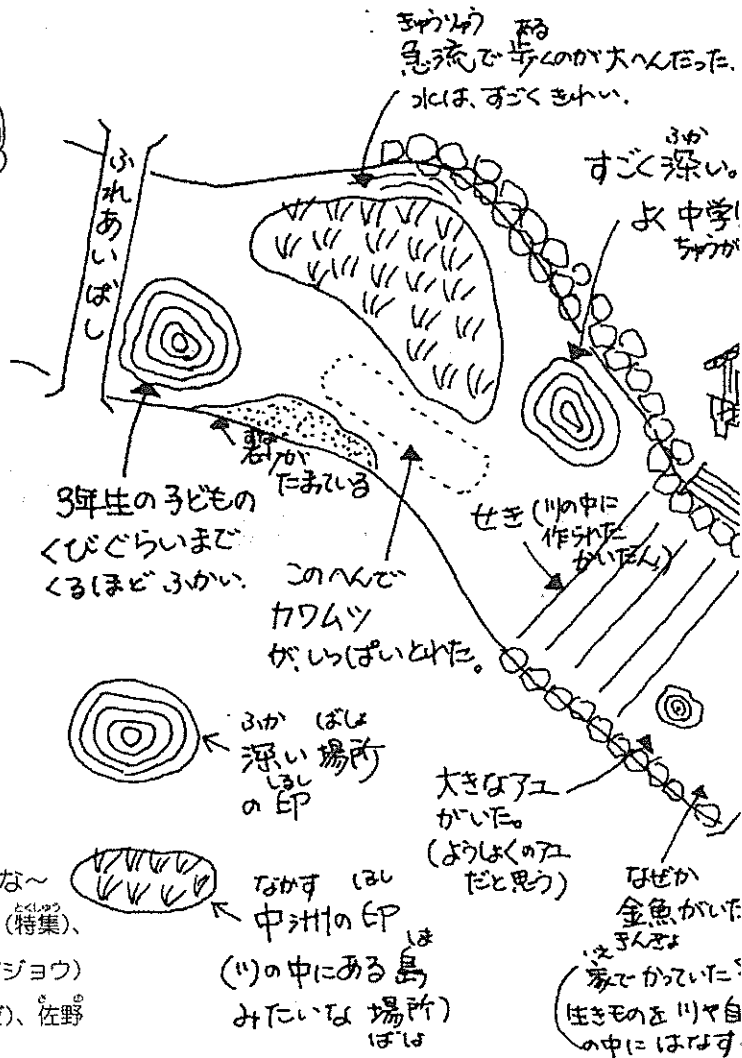
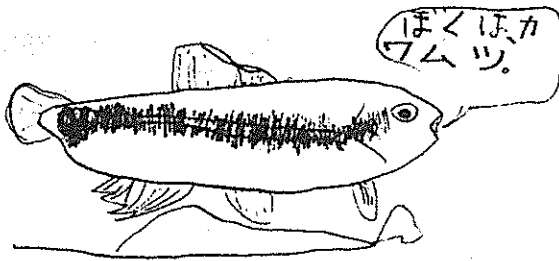
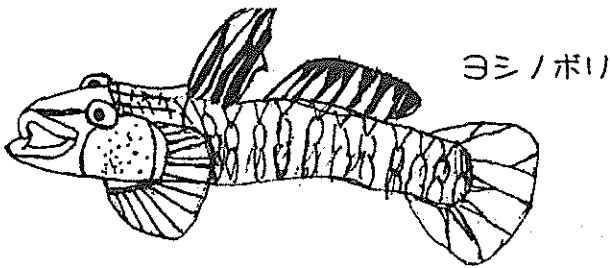
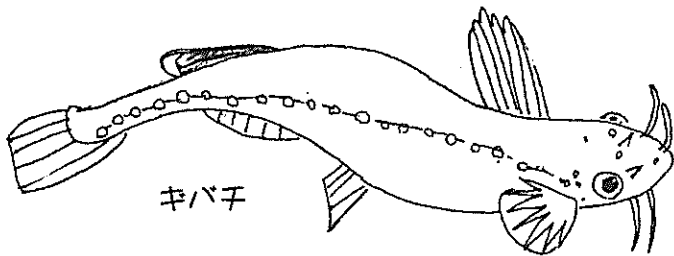
左足で草のおくをおも
いきりける。



▲オシアミ

サガサガサの
オシアミは、
草の中を
かきまわ
り、魚を
とります。

かさがさで(魚)をさがす。



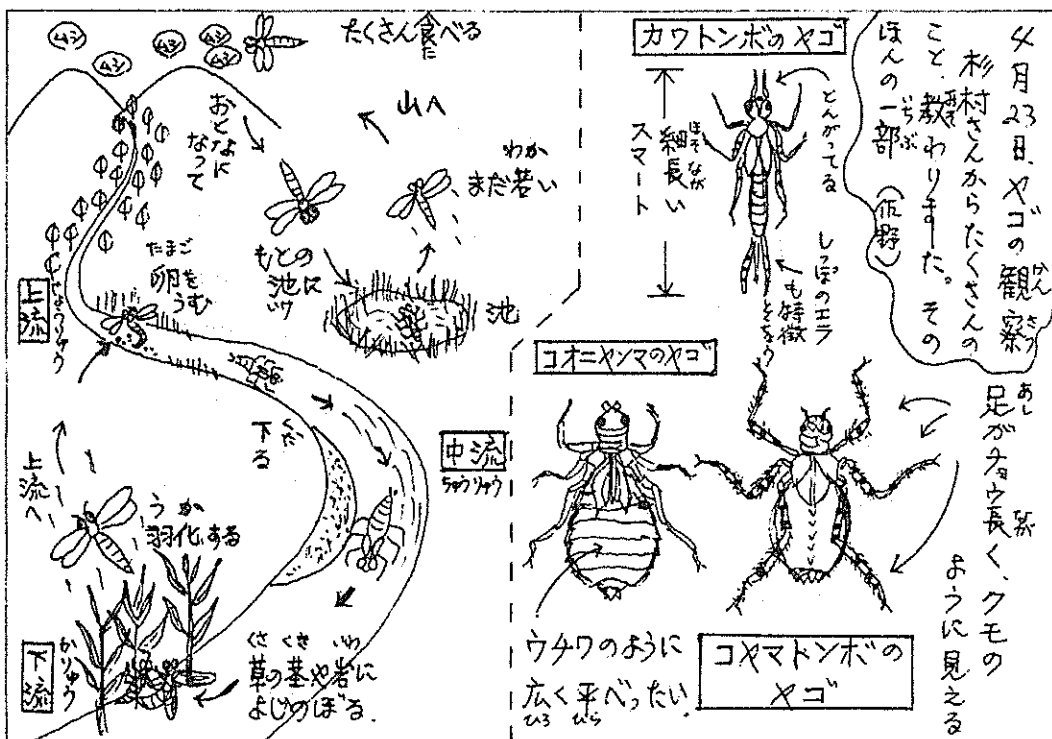
～川ガキ新聞づくりに参加した「自然かんさつ仲間」のみんな～
 大館優太郎くん(マンガ)、金澤倫太郎くん(タイトル)、木谷那津くん(特集)、
 佐久間穂乃花さん(ヨシノボリ、ギバチ)、田中慧くん(3しゆるいのドジョウ)
 辻里詩くん(ガサガサのせつめい、川エビ、カワムツ、ジュスカケハセ)、佐野
 泰道さん(トンボのはなし) 木谷信子さん(感想文)

★だれでも参加できるよ。次号は、きみもいっしょにつくろう！

トンボのはなし

山と川、上流と下流を
 行ったり来たりするトンボ

これだけは見分けられる
 ようにしよう。



平井川がサガサ絵地図

が上からとびこんで
あそんでいる。

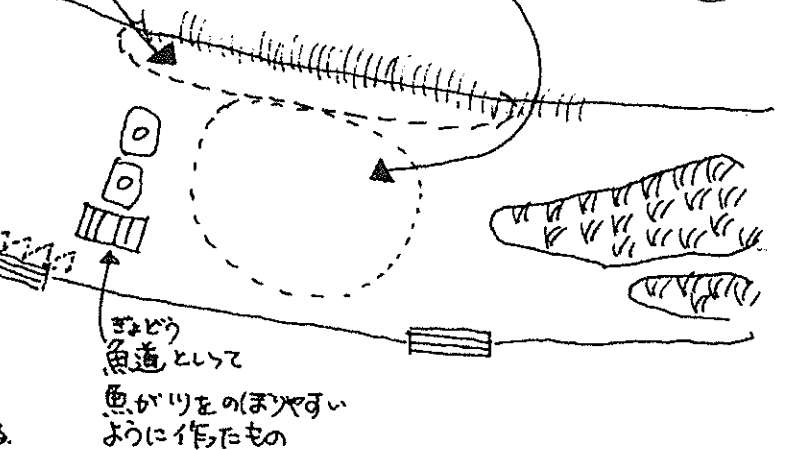
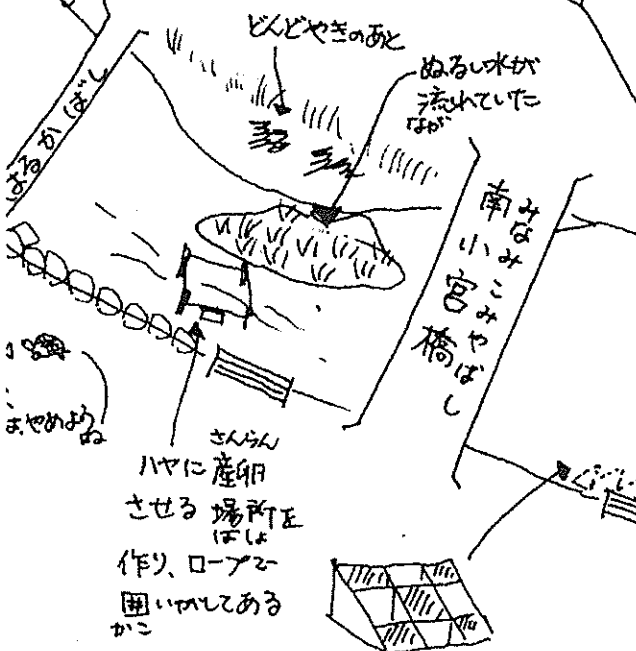


ここにもなつか
金魚がいた
きんぎょ

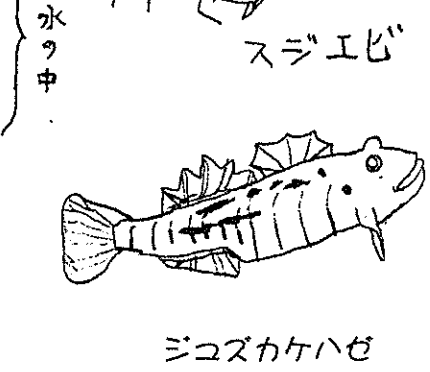
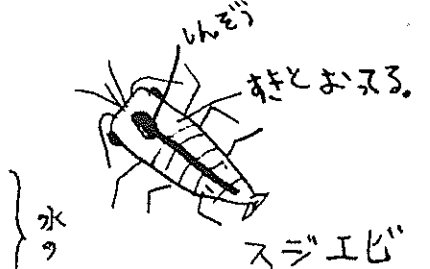
がサガサをしたら
たくさん魚などがとれた

- シマドジョウ (大、小いろいろとれた)
- ジュズカケハゼ (たまごをもつメスもいた)
- ヨシノボリ (平井川ではめずらしい)
- ギバウシ (おなかにたまごをもっていた)
- アブラハヤ
- オイカワ
- サリガニ (たくさんとれた)
- ヤゴ (いろいろはしるいかにとれた)
- リエビ (1ばんたくさんとれた)

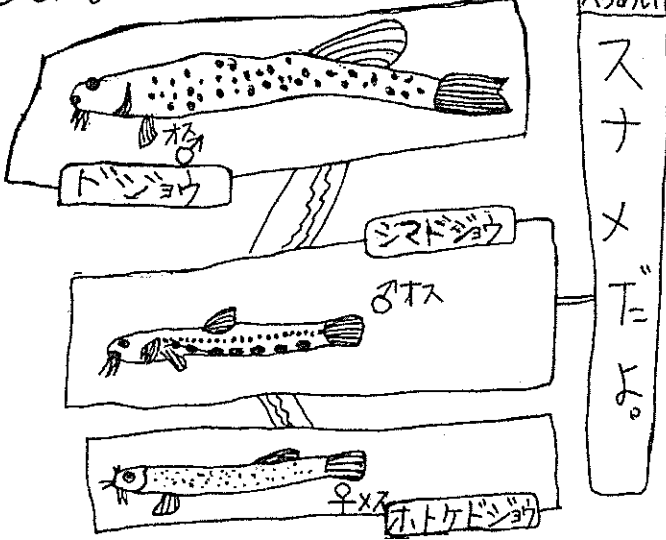
かわは
川下で あみをならべて
まつ今と、
川上から、あみで魚を
かきとるチームにわかれて
とろうとしたが...
けっかは1匹も
とれなかった!!
魚はかきいい!



やわらかいトンボ



3しるいのドジョウ



いので...
とる

川がキくん

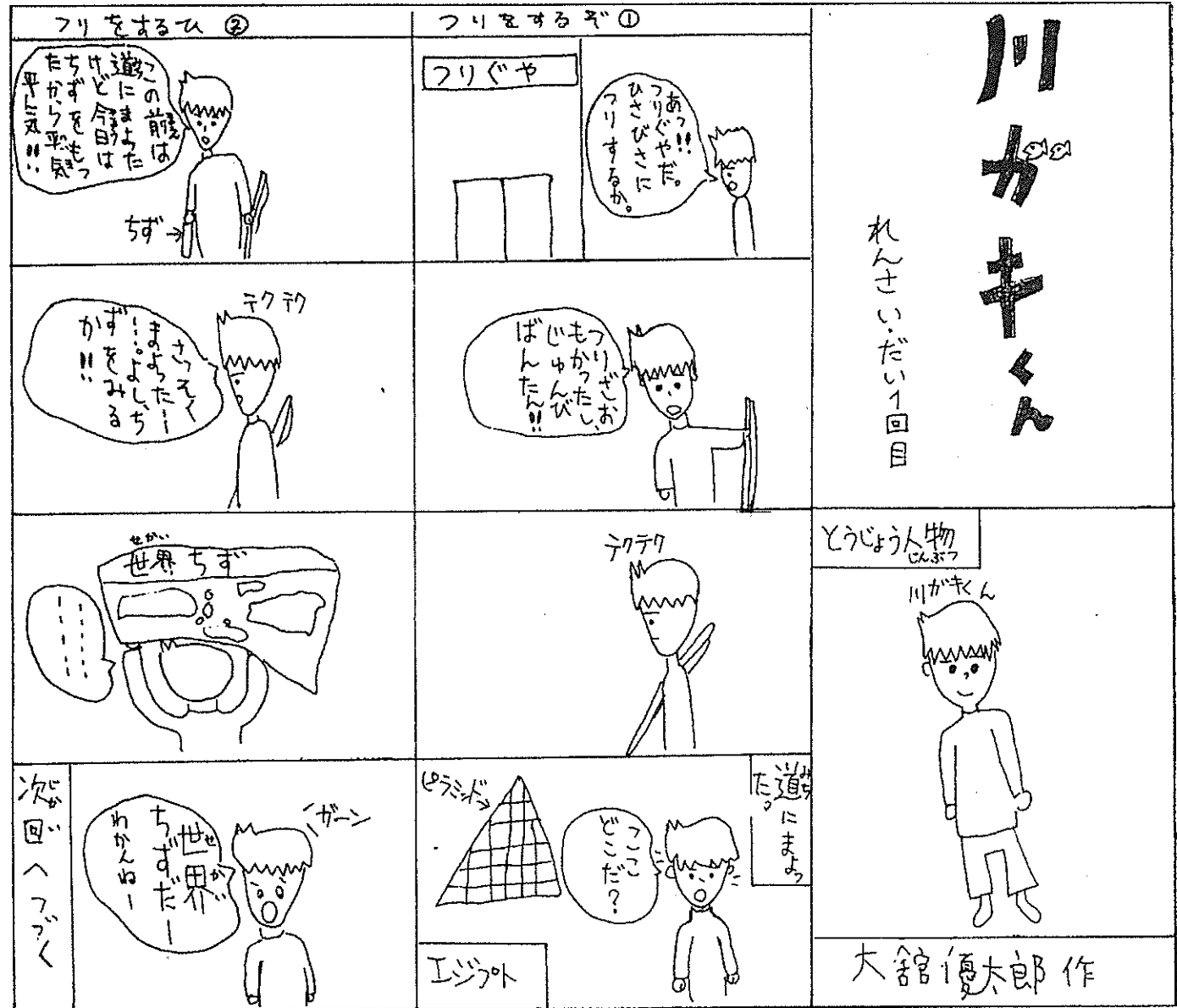
れんさいだい一回目

しょうじょう人物

川がキくん



大館 徳太郎 作



子供の頃から、川で泳ぐ事に慣れていました。生まれ育った場所は、空き地も原っぱもたくさんありましたが、川は少し下口として、岸をリリリと固められていました。TVで観る小川の風景、遊ぶ子供達、すっくとこちらをまじかっただけです。5年前にこちらを越してきた時、私はわくわくしていました。橋の上からでも魚の見える川がある！でもどうやって遊ばいいのか、どうすれば危険ではないのか、私にはわかりません。子供に川との付き合い方を知って欲しくて、昨年からの2人が、そして今年は末っ子と、その付添いとして私も(時には主人も)この会に参加する事になりました。

第一回目は、『トンボ王国、平井川』。まずは平井川についてのクイズと虫博士によるお話です。平井川にうなぎがいるなんて知ってましたか？ また、トンボの生長のために必要な自然環境、なぜたくさん種類の(なんと全国の1/4!)のトンボがこの川で見られるのか？ 川のこの場所にはなぜこのトンボがいるのか、等々、目からウロコの様々なお話を伺い、一辺に脳が活性化された気分でした。その後は川へGO！ お話をもとにあっちこちと子供達は川を探ります。お当てるヤコ他、たくさん川の川に住人に出会えました。

この日の参加だけでも、私の中で川は確実に近い存在になりました。先日、松原の河原へ行った時、子供と一緒に川に入ってみました。教えて頂いた知識を頼りに、網を使い川を探り、ほぼ一日川の中です。頭の中はからっぽ。覚えているのは、川面のキラキラした光、鳥のさえずり、川の音。ああ、夢中になる、ってこういう事だったっけ……と妙に満足してしまいました。そして、自然は素敵！と妙に感心……。

一年間の活動で、この位川と仲良くなれるのか、今からとても楽しみにしています。

よろしかったら皆様も、一緒にいかがですか……？

平井川こどもの水辺自然かんさつ仲間・木谷 信子

川原で遊ぼう会では、平井川流域の自然環境を保全するために、流域に生息する動植物について市民による調査活動を始めています。

今年度は、調査に参加する市民ボランティアの輪を広げるために、下記の要領で講座を開催します。自然に親しむことが好きな方であれば、どなたでも参加できる調査です。

調査を通して、見慣れた自然の中からたくさんの発見が生まれ、思わぬ自然との出会いもあることでしょう。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

自然調査ボランティア 養成講座



*オオタカ調査コース・植生調査コースの募集は終了しました。

カヤネズミ
調査コース
募集中!

里の川 里の山の趣が残る 平井川。

平井川には、さまざまな種類の魚類が棲み水辺には シギ・チドリ・カワセミなどたくさんの野鳥が 姿を見せます。

川の水を育む丘陵部には 今もニホンリス・ノウサギ・タヌキなどの動物たちが暮らしています。

東京の中で、これだけ多様性に富んだ自然が目の当たりに残されている平井川流域は、たいへん貴重な空間だといえます。

しかし 年々進む宅地造成や道路建設などの開発事業によって野生生物の生活環境は悪化の一途をたどり生存の危機に追い込まれている生物も少なくありません。

今 私たちは 利便性や快適さばかりを求めて自然を切り売りするのではなく里の風景が残るこの豊かな自然を守り人と生物が共存できる環境を 次世代に受け継ぐ努力をすべきではないでしょうか。

この自然を次世代へ・・・今、私たちにできることから始めたい